

お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる場合があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。

また、ご自身で調整を行う場合も、本書に従って行ってください。

ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理を依頼してください。

警告



[禁止]

はずしたネジは放置しないでください。
そのままネジを放置すると、小さなお子様が飲み込み、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

指定されたネジ以外は絶対にはずさないでください。
万一、はずしてしまった場合は、すぐにネジを付けてください。

不安定な台の上などで作業を行わないでください。

【調整する場合】

商品を調整する際は、電動ドライバーを使用しないでください。商品の不具合や破損の原因となります。

【水への配慮】

お手入れの際、窓や引戸にホースや高圧洗浄機などで勢いよく水をかけないでください。
室内側へ水が入るおそれがあります。

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。
表面に付着すると変色するおそれがあります。
付着した場合はすみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。商品にキズがつくおそれがあります。
布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。商品にキズがつくおそれがあります。

お手入れ方法

アルミ製商品／スチール製商品／樹脂製商品（デッキ材含む） ／アクリル・ポリカーボネート板（屋根ふき材含む）

お願い

【アルミ製商品・スチール製商品】

表面に汚れがついた場合は、早めに洗い落としてください。
汚れがついたまま放置すると、しみ、腐食、色落ちするおそれがあります。

【樹脂製商品】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけないでください。
熱源を近づけたり、触れたりすると、変形することがあります。

樹脂表面に、殺虫剤などの薬剤を塗布・散布しないでください。
薬剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

【アクリル・ポリカーボネート板】

商品に有機溶剤を含む、殺虫剤やガラスクリーナーを塗布・散布しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れが発生するおそれがあります。

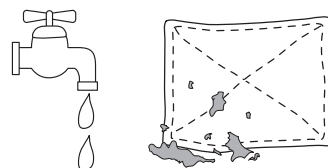
古くなったポリカーボネートの屋根ふき材は、早めに交換してください。
古くなると、強風や積雪、衝撃などで破損するおそれがあります。

ポリカーボネートに油膜が付着した場合は、すみやかに清掃してください。
割れや変形、変色の原因となります。

■通常のお手入れ

1 表面のホコリ・砂を落とす

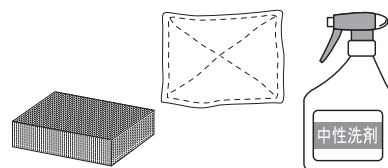
柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



2 水ぶきする

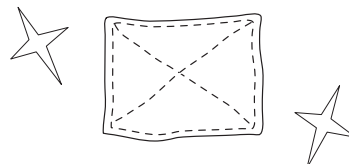
柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



ガラス

※イーザーメンテナンスガラスについては、商品付属の取扱説明書をご覧ください。

● ガラスに浮き出る吸盤やラベルの跡について

ガラス表面が曇った時など、製造や施工の際に使用する吸盤の跡や、施工時に貼ってあるラベルの跡が浮き出てくることがあります。

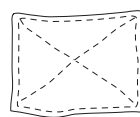
これは、ガラスの機能や性能に影響を及ぼすものではありませんが、通常のクリーニングでは除去できない場合があります。中性洗剤で落とすことが難しい場合は、カー用品店やホームセンターで購入できる「自動車用油膜除去剤」（酸化セリウム配合）で除去できます。

ご使用にあたっては、「油膜除去剤」に添付されている取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

■ ガラスのお手入れ

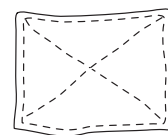
1 汚れをふき取る

柔らかい布に中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸し、汚れをふき取ります。



2 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



ハンドル・引手

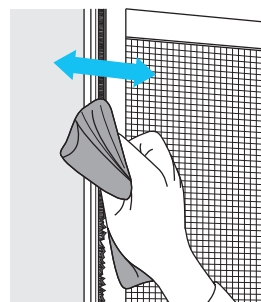
清掃方法については、「アルミ製商品／スチール製商品／樹脂製商品（デッキ材含む）／アクリル・ポリカーボネート板（屋根ふき材含む）」（→P.116）を参照してください。

網戸（モヘア部分）

1 モヘア表面のホコリ・砂を落とす

柔らかい布や柔らかいブラシに水を浸し、モヘアの毛並みに沿うように水洗いします。

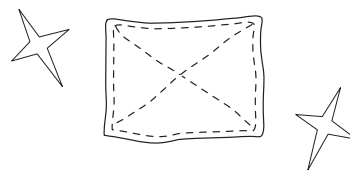
※汚れが落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使い、軽く洗い流します。



2 水分をふき取る

モヘアの毛並みに沿うように水分を十分にふき取り、乾燥させます。

※モヘアが毛束になっている場合は、毛束をほぐしながら水分をふき取ります。



カギ・カギ穴

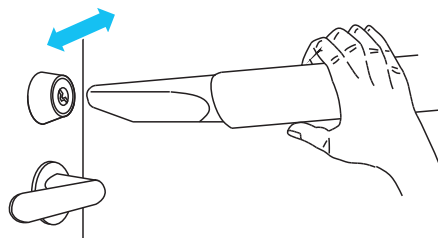
お願い

- 油が含まれている潤滑剤（CRC、シリコーンスプレーなど）は使用しないでください。ゴミやホコリがカギ穴内部に付着し、作動不良や故障の原因となります。

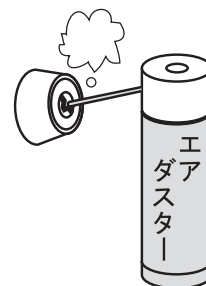
■カギ穴のお手入れ

1 ゴミを吸い出す

掃除機をカギ穴につけ、左右に振って中のゴミを吸い出します。



または
パソコンのキーボードのゴミを飛ばすエアダスターなどを使って中のゴミを吹き飛ばします。

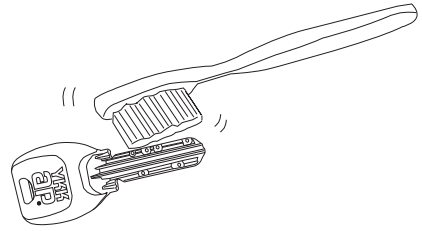


■カギのお手入れ

1 汚れをかき出す

古い歯ブラシなどで、きざみ部分やミゾの汚れをかき出します。

※定期的に掃除をしてください。



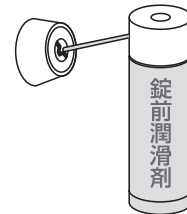
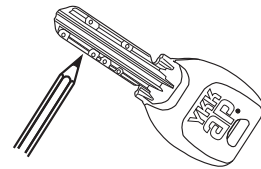
■カギ穴の抜き挿しがスムーズにできない、または重い時

1 きざみ部分やミゾを黒く塗る

カギのきざみ部分やミゾを鉛筆でなぞり、黒く塗ります。

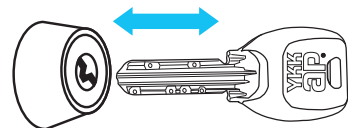
または

※錠前潤滑剤のご購入はYKKAP Parts Shop まで。
(<http://parts.ykkap.co.jp/shop/>)



2 カギを抜き挿しする

カギ穴に挿し込み、数回抜き挿しします。



3 黒い粉や潤滑剤をふき取る

カギに付着した黒い粉または潤滑剤を布などでふき取ります。

※必ずふき取ってください。そのまま使用すると、衣服などを汚す場合があります。

